

「日本の強み（特徴）」評価軸の参考資料について

WSでは、①TD研究評価軸と②日本の強み（特徴）評価軸の2つの評価軸から各研究課題の優先順位を決定していただきます。②日本の強み（特徴）評価軸では、各課題に関連した日本のこれまでの研究について世界および日本国内での位置づけを確認する作業を最初に行います。その上で、1)特徴をさらに伸ばすという視点と2)日本に足りない部分を補い伸ばすという視点から優先すべき課題を選択していただきます。そこで、日本の位置づけの把握に用いる資料を事前資料として添付致しました。各資料の内容について、以下をご参照の上、ご確認ください。

◎添付資料について

それぞれの研究課題に対して日本によるこれまでの研究状況を把握するため、以下の3点を実施しました。なお、各資料はそれぞれの項目に対応します。

- 1) 各研究課題に関連する論文をトムソン・ロイターWeb of Scienceより抽出。
- 2) 日本の著者が含まれる論文について課題毎に世界全体での論文数のシェアと相対的な被引用数の大きさを比較。
- 3) 日本の著者が含まれる論文と他国の著者による論文の相対的な被引用数の大きさを比較。

資料②-1

本資料は、Web of Scienceから各課題と関連性のある論文を抽出するために用いた検索語とその内容、抽出した論文数を課題毎に示しています。論文の抽出にはWeb of ScienceのCore Collectionを使用しています。

資料②-2

本資料では、抽出した論文の中で著者が日本の研究機関に所属している論文の占める割合（占有率）と、相対的な被引用数の大きさ（相対被引用度）を課題毎に算出し、比較しています。

占有率は、特定の課題に関する抽出した全論文数に対して、日本の著者による論文が占める割合にあたります。この値が大きいことは、世界全体でその課題について日本が論文を多く書いていることを意味します。

相対被引用度（Category Normalized Citation Impact: CNCI）は、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標です。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したものです。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定されています。各課題の値は、抽出した論文のうち、日本の著者による論文のみを対象にした相対被引用度の平均値です。この値が大きいことは、総合的に見れば、その課題に関して引用される頻度が高く、評価の高い論文を日本が書いていることを意味します。

グラフ内の各マーカーには対応する課題番号（#付数字）と日本の著者による論文の数を記載しています。また赤い点線は、抽出した全ての課題の論文（日本の著者以外も含む）を対象にした相対被引用度の平均値を示しています。課題群における世界全体の平均的な論文のインパクトの大きさを表します。青い点線は、抽出した全ての論文（課題群内の全論文）の中で、日本の著者が含まれる論文が占める割合を表しています。

資料②-3

本資料は、それぞれの課題毎に、日本の著者が含まれる論文、他国（アメリカ、イギリス、中国）の著者が含まれる論文、その課題の全ての論文を対象として相対被引用度の平均値を比較したものです。globalの値がその課題について世界の平均値を示しています。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

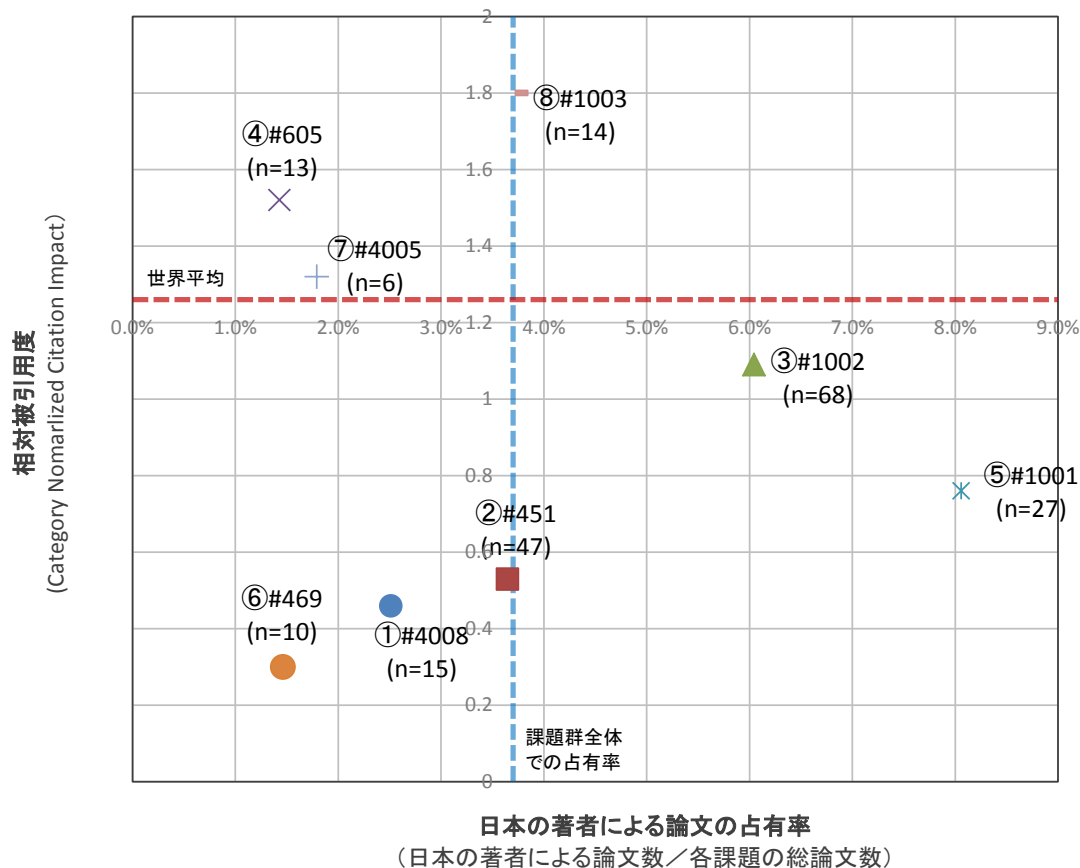
No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#4008	持続可能な農業の技術・制度に関する研究	TS=("sustainable agriculture" technology) OR TS=("sustainable agriculture" institution)	597
②	#451	食料自給率に関する研究／ 農業発展と食料確保に関する研究	TS=(food self-sufficiency) OR TS=(food sovereignty)OR TS=("economic development" "food security") OR TS=("agricultural development" "food security")	1289
③	#1002	伝統食に関する研究	TS=("traditional food")	1125
④	#605	発展途上国とフードセキュリティに関する研究	TS=("developing countr*" "food security")	911
⑤	#1001	食料廃棄物の削減に関する研究	TS=("food waste" reduction)	335
⑥	#469	資源や廃棄物の分配に関する研究	TS=(resource waste allocation)	684
⑦	#4005	食料廃棄物と流通・消費に関する研究	TS=("food waste" distribution) OR TS=("food waste" consumption)	335
⑧	#1003	地球規模の食料の生産・加工・流通・消費の 予測に関する研究	TS=(global food prediction) AND TS=(production OR consumption OR distribution OR processing)	376

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

注3) 梅津先生のご提案は、#451に反映(赤字箇所)。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

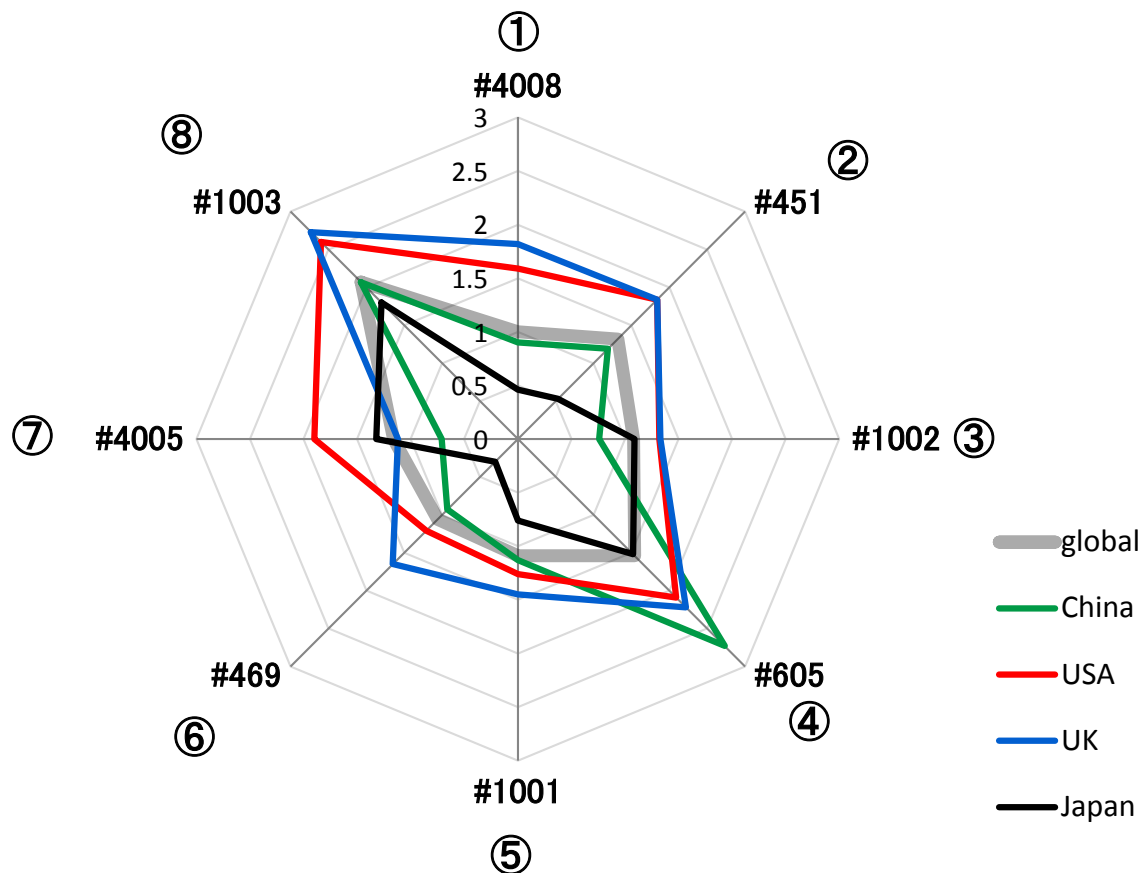
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	抽出した論文	論文数
①	#4008	持続可能（農業 OR 林業 OR 水産）（技術 OR 制度）	221
②	#451	食糧自給率 向上	40
③	#1002	伝統 食文化	281
④	#605	途上国 飢餓 食料	4
⑤	#1001	食料 廃棄物 削減	8
⑥	#469	（資源 OR 廃棄物） 分配	618
⑦	#4005	食料 廃棄物（流通 OR 消費）	20
⑧	#1003	食料 生産（加工 OR 流通 OR 消費） 予測	13

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

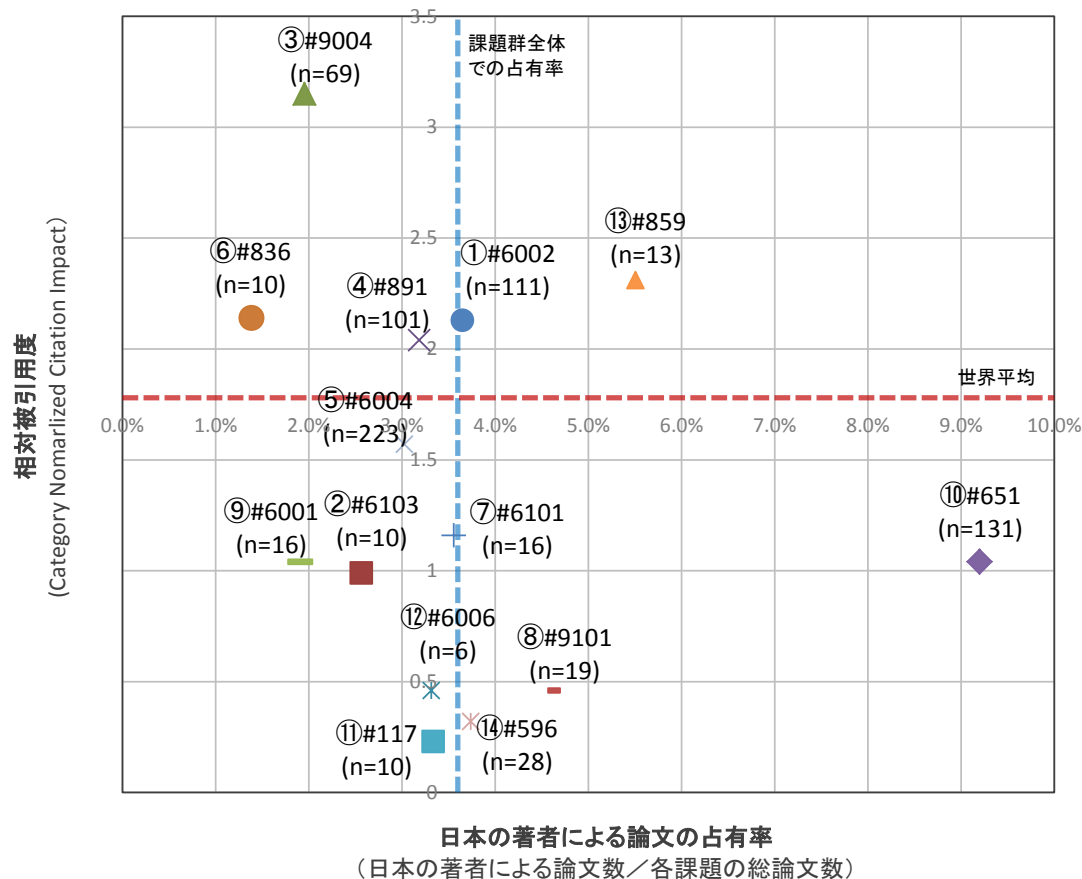
(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#6002	温暖化と予測手法に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=(method) AND TS=(projection OR prediction)	3043
②	#6103	温暖化と海面上昇に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=("sea level" interaction)	390
③	#9004	温暖化と生態系の相互作用に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=(ecosystem interaction)	3526
④	#891	温暖化と水資源に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=("water resource*" impact)	3173
⑤	#6004	温暖化と生態系・生物資源の連関に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=(ecosystem OR species) AND TS=(relation*)	7362
⑥	#836	温暖化・農業・レジリアンスに関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=(agriculture farm*) AND TS=(resilience OR adaptation)	722
⑦	#6101	温暖化・大気汚染・解決策に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=("air pollution") AND TS=(solution OR reduction)	450
⑧	#9101	温暖化・災害・レジリアンスに関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=(disaster resilience)	416
⑨	#6001	温暖化・植林管理に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=(plantation management)	524
⑩	#651	CO2削減手法に関する研究	TS=(CO2 emission reduction method)	1424
⑪	#117	CO2排出と社会制度に関する研究	TS=(CO2 emission institution*)	300
⑫	#6006	温暖化と国際制度に関する研究	TS=("climate change" OR "global warming") AND TS=("international policy" OR "international agreement")	181
⑬	#859	カーボンプライシングに関する研究	TS=("carbon pricing")	236
⑭	#596	砂漠化防止に関する研究	TS=(desertification) AND TS=(reduce OR prevent)	749

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

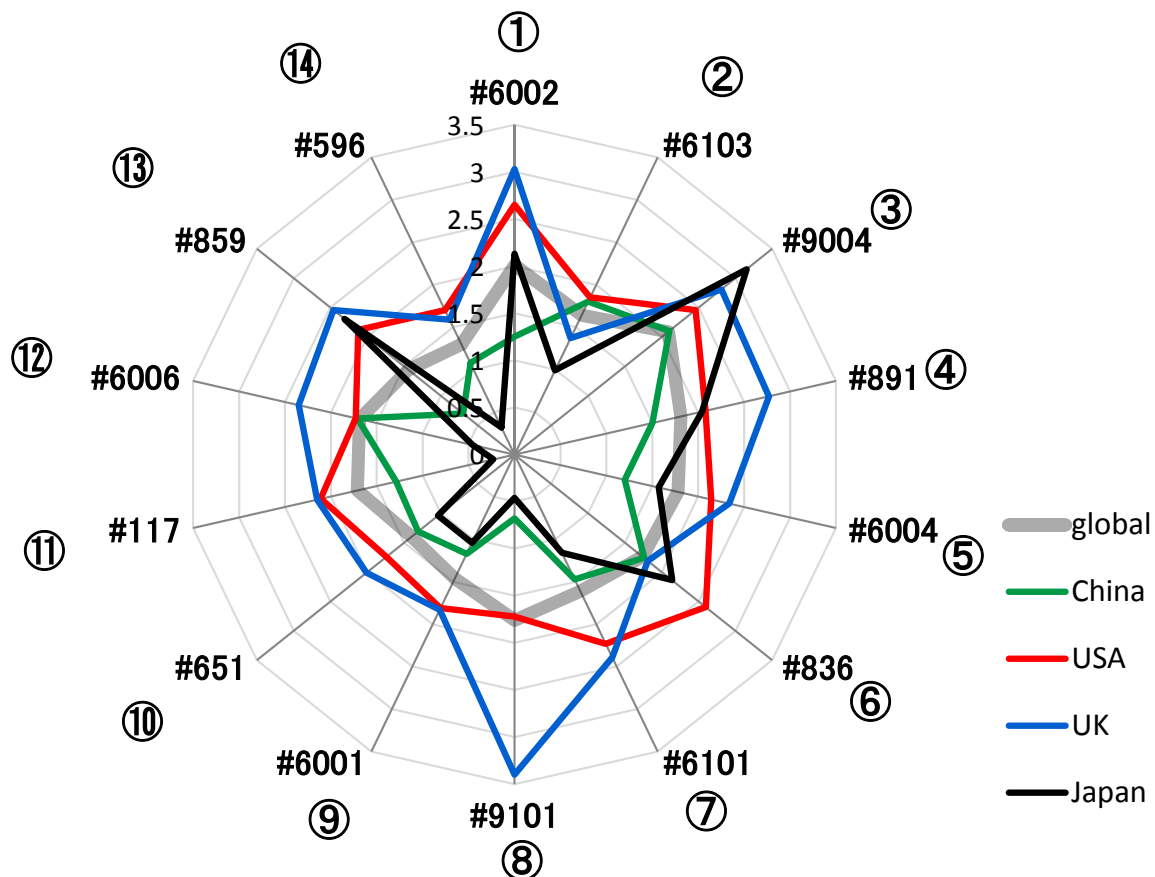
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカーには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	検索語	論文数
①	#6002	(気候変動 OR 温暖化) 影響 予測	463
②	#6103	(気候変動 OR 温暖化) 海面上昇	166
③	#9004	(気候変動 OR 温暖化) 生態系 相互作用	26
④	#891	(気候変動 OR 温暖化) 水資源 影響	237
⑤	#6004	(生物資源 OR 生態系) 温暖化	437
⑥	#836	(気候変動 OR 温暖化) 小規模 農業	7
⑦	#6101	(気候変動 OR 温暖化) 大気汚染	176
⑧	#9101	(気候変動 OR 温暖化) 災害	480
⑨	#6001	(気候変動 OR 温暖化) 植林 管理	14
⑩	#651	CO2 削減手法	7
⑪	#117	CO2 排出 社会 制度	10
⑫	#6006	(気候変動 OR 温暖化) 国際制度	38
⑬	#859	カーボン プライシング	1
⑭	#596	砂漠化 防止	159

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

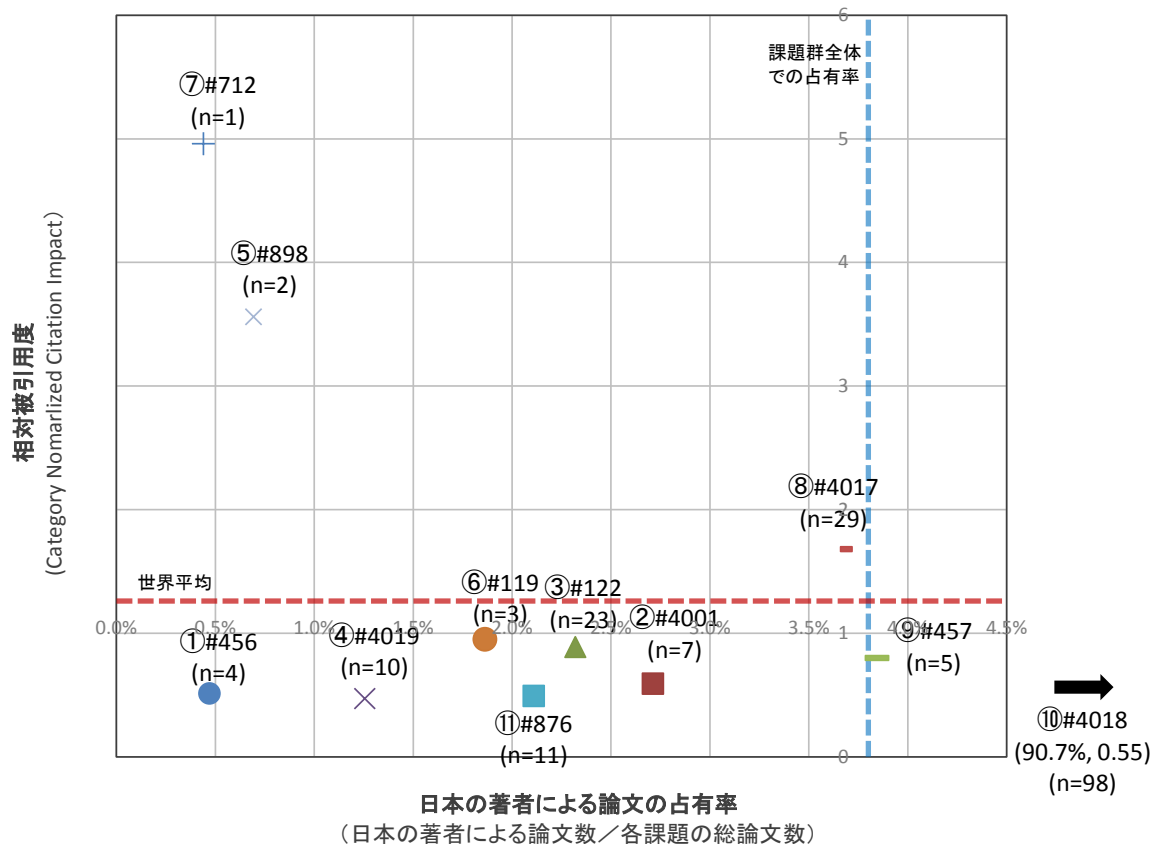
(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#456	野生動物と駆除に関する研究	TS=("wild animal*" OR wildlife) AND TS=(extirpat* OR exterminat* OR eradicat*)	849
②	#4001	外来種と政策に関する研究	TS=("introduced species" OR "alien species") AND TS=(business OR policy)	258
③	#122	絶滅危惧種と保全に関する研究	TS=("endangered species" conservation reserve)	992
④	#4019	自然保護区と管理に関する研究	TS=("nature reserve" management)	796
⑤	#898	生物多様性保全・経済・設計に関する研究	TS=(biodiversity conservation reserve design econom*)	289
⑥	#119	生物多様性保全の意義に関する研究	TS=(biodiversity conservation reason human)	161
⑦	#712	生物多様性保全と評価基準の策定に関する研究	TS=(biodiversity conservation criteria policy)	227
⑧	#4017	海洋生態系と変化予測・モニタリング・保全に関する研究	TS=("marine ecosystem") AND TS=(prediction OR monitoring OR conservation)	792
⑨	#457	土地開発と生態系に関する研究	TS=("land development" ecosystem)	130
⑩	#4018	里山／里海に関する研究	TS=(satoumi OR satoyama)	108
⑪	#876	発展途上国と資源管理に関する研究	TS=("developing countr*" "resource management")	521

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

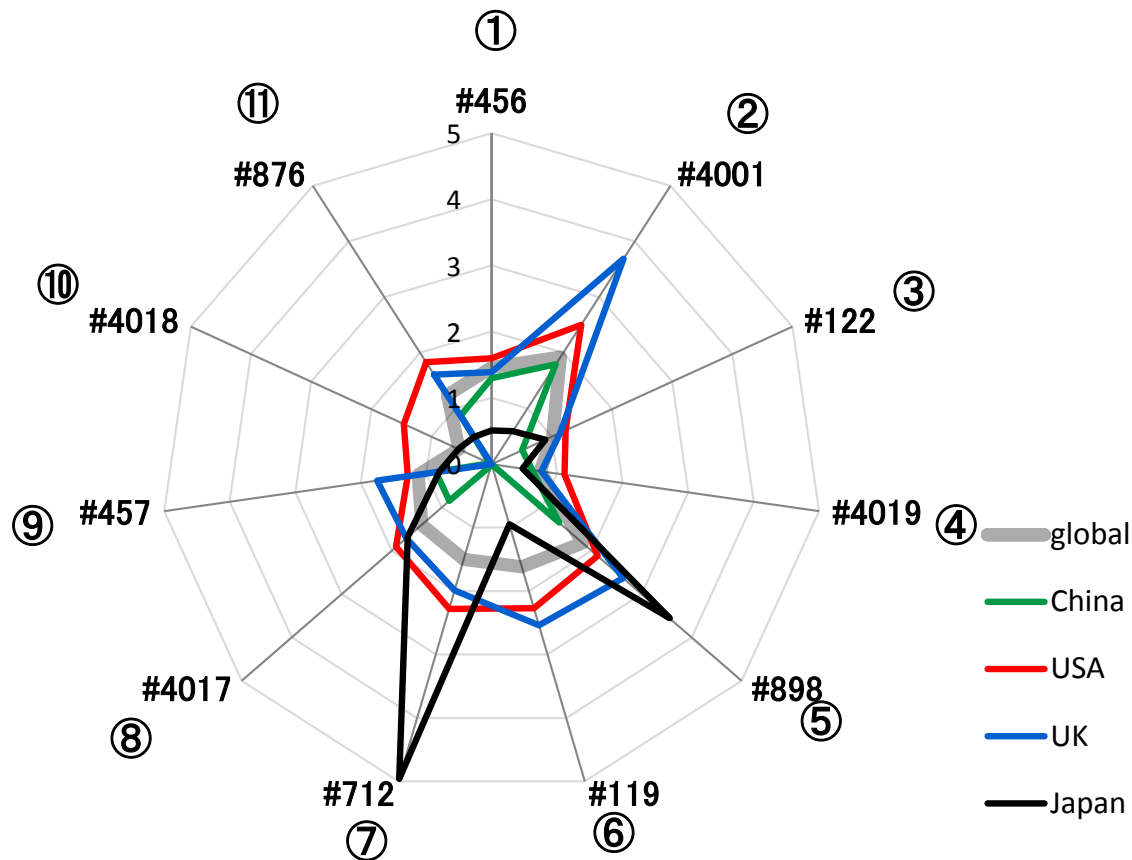
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	検索語	論文数
①	#456	野生動物 駆除	39
②	#4001	外来種 (制度 OR ビジネス)	9
③	#122	絶滅危惧種 保全	306
④	#4019	自然保護区 世代	3
⑤	#898	生物多様性 保全 経済 システム	17
⑥	#119	生物多様性 意義	86
⑦	#712	生物多様性 保全 基準	29
⑧	#4017	海洋生態系 (予測 OR モニタリング OR 保全)	88
⑨	#457	土地 開発 生態系 影響	25
⑩	#4018	(里海 OR 里山) 生態系 管理	44
⑪	#876	生物資源 最貧国	1

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数(その1)

(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#133.2	生物濃縮と食物連鎖に関する研究	TS=(bioaccumulation "food web") OR TS=(bioconcentration "food web") OR TS=(bioaccumulation "food chain") OR TS=(bioconcentration "food chain")	1920
②	#250	日本・気候変動と健康・感染症に関する研究	TS=("emerging infectious disease" Japan) OR TS=(EID Japan) OR TS=("climate change" health Japan) OR TS=("global warming" health Japan) OR TS=("climate change" disease Japan) OR TS=("global warming" disease Japan) OR TS=("climate change" virus Japan) OR TS=("global warming" virus Japan)	148
③	#6501	生物多様性と人間の福利に関する研究	TS=(biodiversity "human well being")	317
④	#255	都市環境と健康リスクに関する研究	TS=(urban "health risk" environment)	353
⑤	#6502	農薬・化学物質と健康と生態系に関する研究	TS=(pesticide health ecosystem) OR TS=(pesticide health ecology) OR TS=(agrochemicals health ecosystem) OR TS=(agrochemicals health ecology)	577

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数(その2)

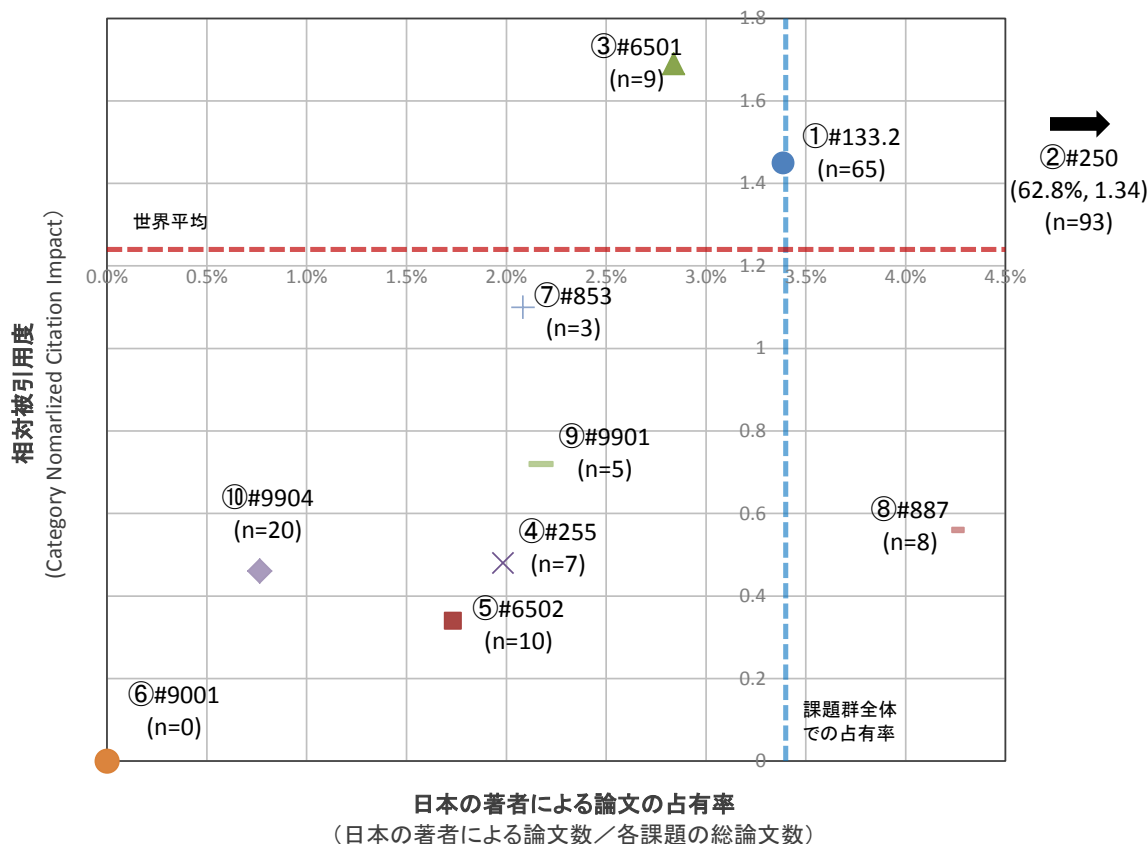
(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

⑥	#9001	越境汚染と健康に関する研究	TS=(health "transboundary pollution") OR TS=(health "cross-boundary pollution") OR TS=(health "cross-frontier pollution") OR TS=(health "transfrontier pollution") OR TS=(health "transborder pollution")	26
⑦	#853	グローバリゼーション・健康・ガバナンスに関する研究	TS=(globalization health governance)	144
⑧	#887	健康被害と未然防止に関する研究	TS=("health damage" prevention) OR TS=("health hazard" prevention) OR TS=("health damage" compensation) OR TS=("health hazard" compensation) OR TS=("health damage" "early warning") OR TS=("health hazard" "early warning")	189
⑨	#9901	肥満と飢餓に関する研究	TS=(obesity famine)	230
⑩	#9904	総合的教育に関する研究	TS=(holistic education)	2612

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

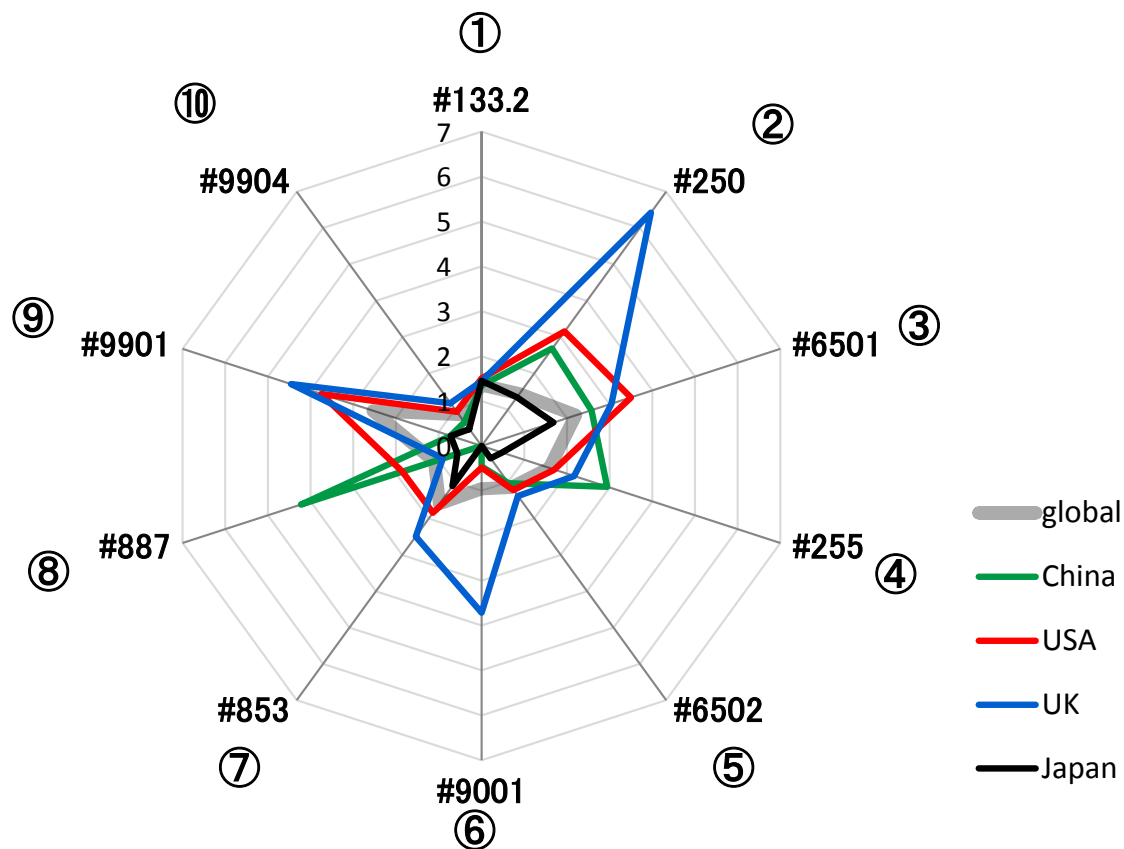
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	検索語	論文数
①	#133.2	生物濃縮 食物連鎖	17
②	#250	温暖化 日本（伝染病 OR 感染症）	34
③	#6501	生物多様性 人間 福利	3
④	#255	都市 健康リスク	21
⑤	#6502	農薬 生態系 健康	13
⑥	#9001	越境汚染 健康	6
⑦	#853	グローバ* 健康 ガバナンス	2
⑧	#887	健康被害 防止	91
⑨	#9901	肥満 飢餓	48
⑩	#9904	総合的 人材 教育 環境 社会	20

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

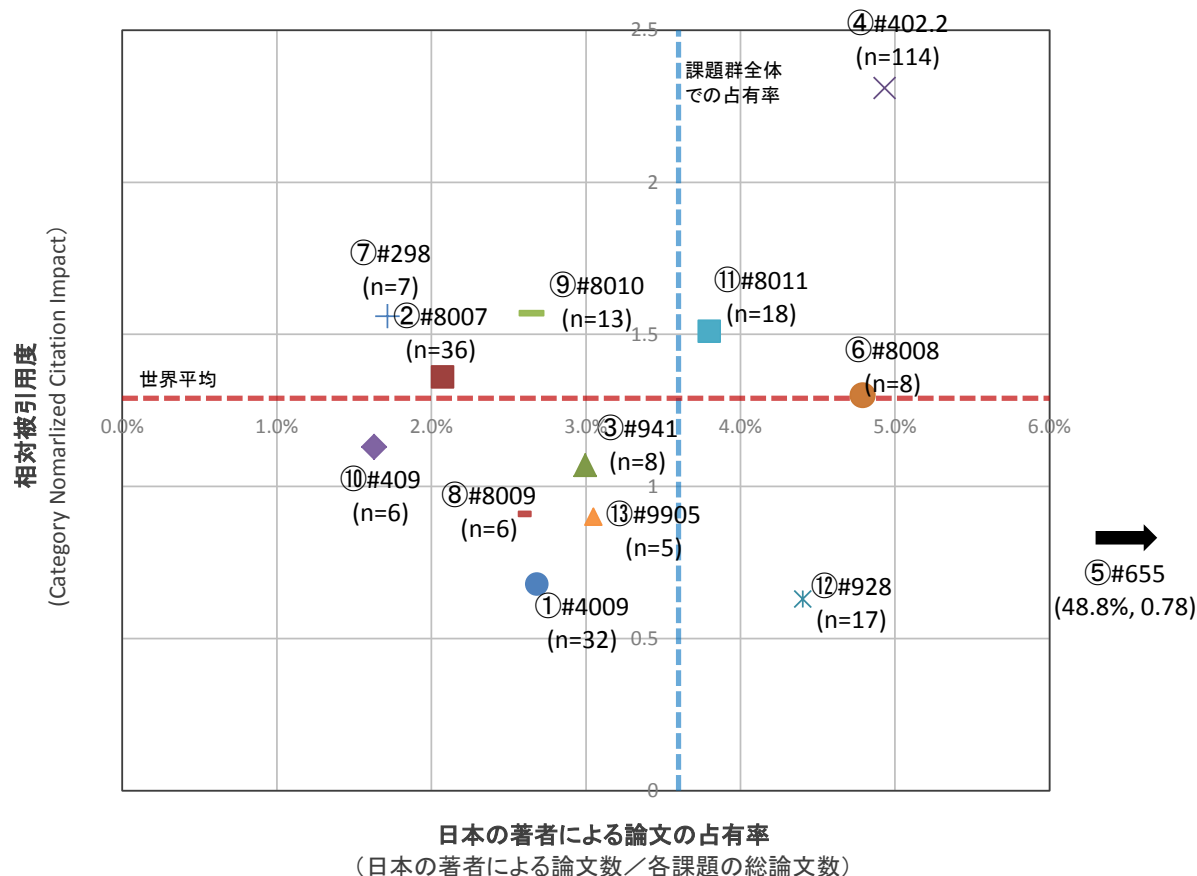
No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#4009	エネルギー資源と持続可能性に関する研究	TS=("energy resource*" sustainable)	1193
②	#8007	エネルギー構成に関する研究	TS=(energy portfolio)	1737
③	#941	再生可能資源と代替可能性に関する研究	TS=(resource* renewable substitution)	267
④	#402.2	将来のエネルギーに関する研究	TS=("future energy")	2311
⑤	#655	原子力と地球環境に関する研究	TS=(nuclear "global environment")	43
⑥	#8008	エネルギーと技術普及に関する研究	TS=(energy "technology diffusion")	167
⑦	#298	太陽光発電と政策に関する研究	TS=("solar photovoltaic*" OR "solar PV") AND TS=(policy)	408
⑧	#8009	再生可能エネルギーと副産物に関する研究	TS=("renewable energy" "by-product*")	234
⑨	#8010	再生可能エネルギーと利害関係者に関する研究	TS=(stakeholder "renewable energy")	491
⑩	#409	再生可能エネルギーへの転換と政策に関する研究	TS=(transition "renewable energy" policy)	368
⑪	#8011	エネルギー技術と評価に関する研究	TS=(assessment "energy technology") OR TS=("environmental assessment" energy resource)	474
⑫	#928	エネルギーの自給とシステムに関する研究	TS=("energy independence" system) OR TS=(energy "self-sufficiency" system)	386
⑬	#9905	持続可能なエネルギーとイノベーションに関する研究	TS=("energy technology innovation" OR "energy innovation")	164

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

注3) 新たにご提案いただいた検索語は、赤字箇所反映。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

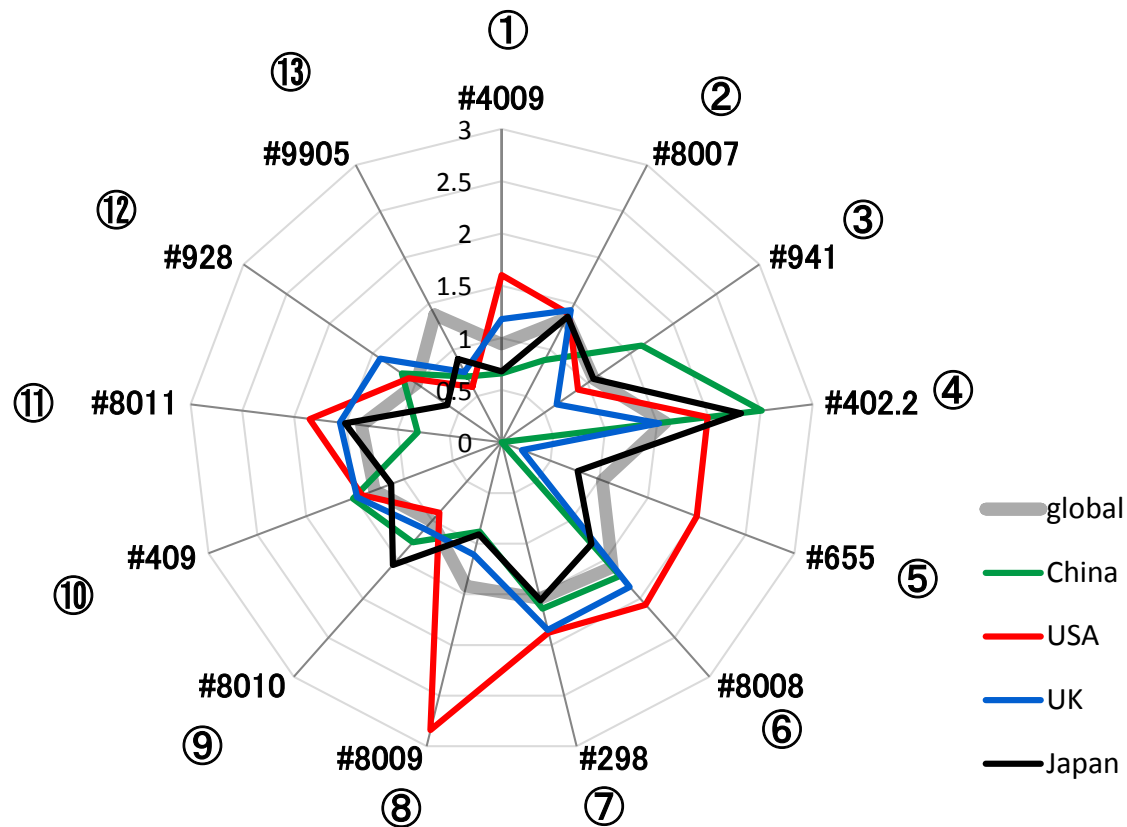
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカには対応する課題番号(#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	抽出した論文	論文数
①	#4009	エネルギー資源 持続（利用 OR 活用）	22
②	#8007	エネルギー 政策 構成	43
③	#941	再生可能 資源 代替	31
④	#402.2	未利用エネルギー（利用 OR 活用）	821
⑤	#655	原子力 地球環境	318
⑥	#8008	エネルギー 技術 普及	799
⑦	#298	太陽光 発電 政策	143
⑧	#8009	再生可能 エネルギー 廃棄物	109
⑨	#8010	エネルギー 導入 利害関係	3
⑩	#409	再生可能 エネルギー 転換	126
⑪	#8011	（エネルギー技術 OR 資源利用）（アセスメント OR 評価）	932
⑫	#928	エネルギー 自給 経済 システム	11
⑬	#9905	持続可能（エネルギー OR 資源 システム）イノベーション	15

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

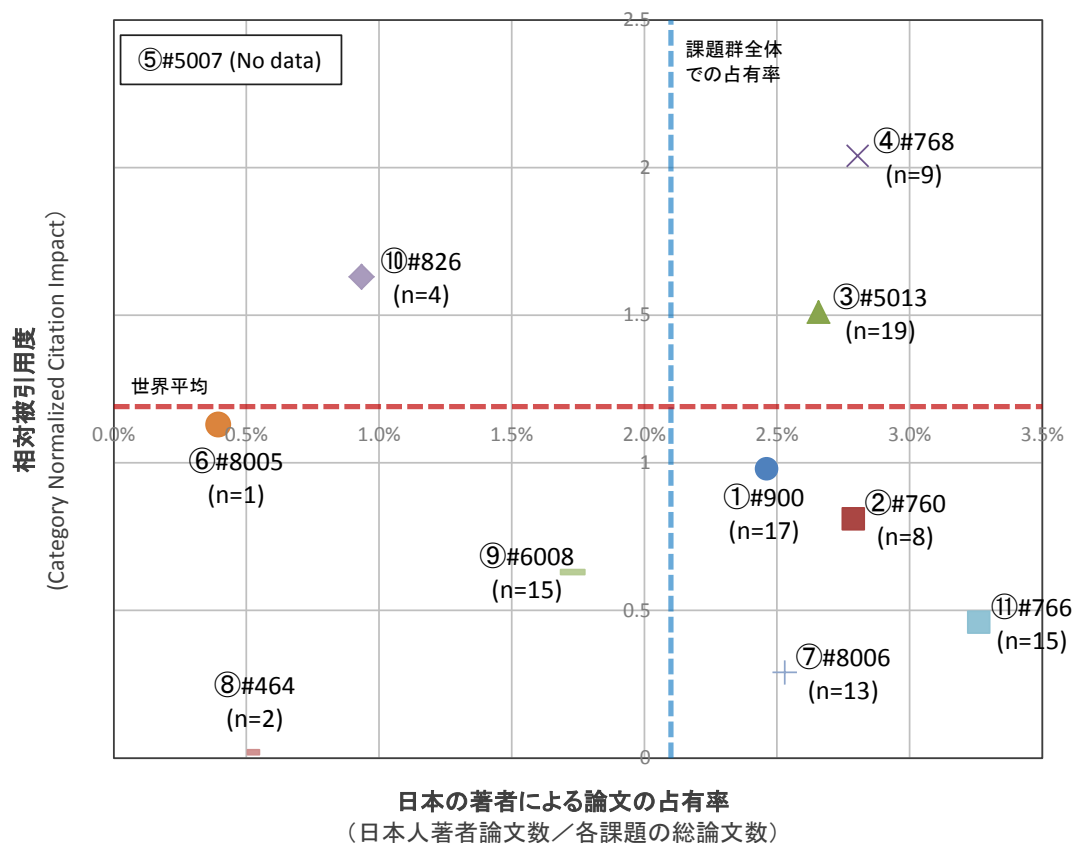
No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#900	自然資本/生態系サービスとガバナンスに関する研究	TS=("natural capital" OR "ecosystem services") AND TS=(governance)	691
②	#760	持続可能なエネルギーとローカルに関する研究	TS=(local "sustainable energy")	287
③	#5013	循環経済に関する研究	TS=("circular economy")	715
④	#768	持続可能・ローカル・経済成長に関する研究	TS=(sustainable local "economic growth")	321
⑤	#5007	—	—	—
⑥	#8005	持続可能性と人口に関する研究	TS=(sustainability "human population")	254
⑦	#8006	育児と雇用に関する研究	TS=(childcare employment)	514
⑧	#464	社会科学分野における高齢者に関する研究	TS=(retirement age) AND SU=(Social Sciences)	397
⑨	#6008	持続可能なコミュニティに関する研究	TS=("community sustainability" OR "sustainable communit**")	867
⑩	#826	社会科学分野における環境保全と参加に関する研究	TS=("environmental protection" participation) OR TS=("environmental protection" household) AND SU=(Social Sciences)	428
⑪	#766	ローカル・保全・情報共有/連携に関する研究	TS=(local conservation information sharing) OR TS=(local conservation cooperation)	460

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

注3) #5007に関連する論文は、適切な検索語が得られなかったため分析から除外。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

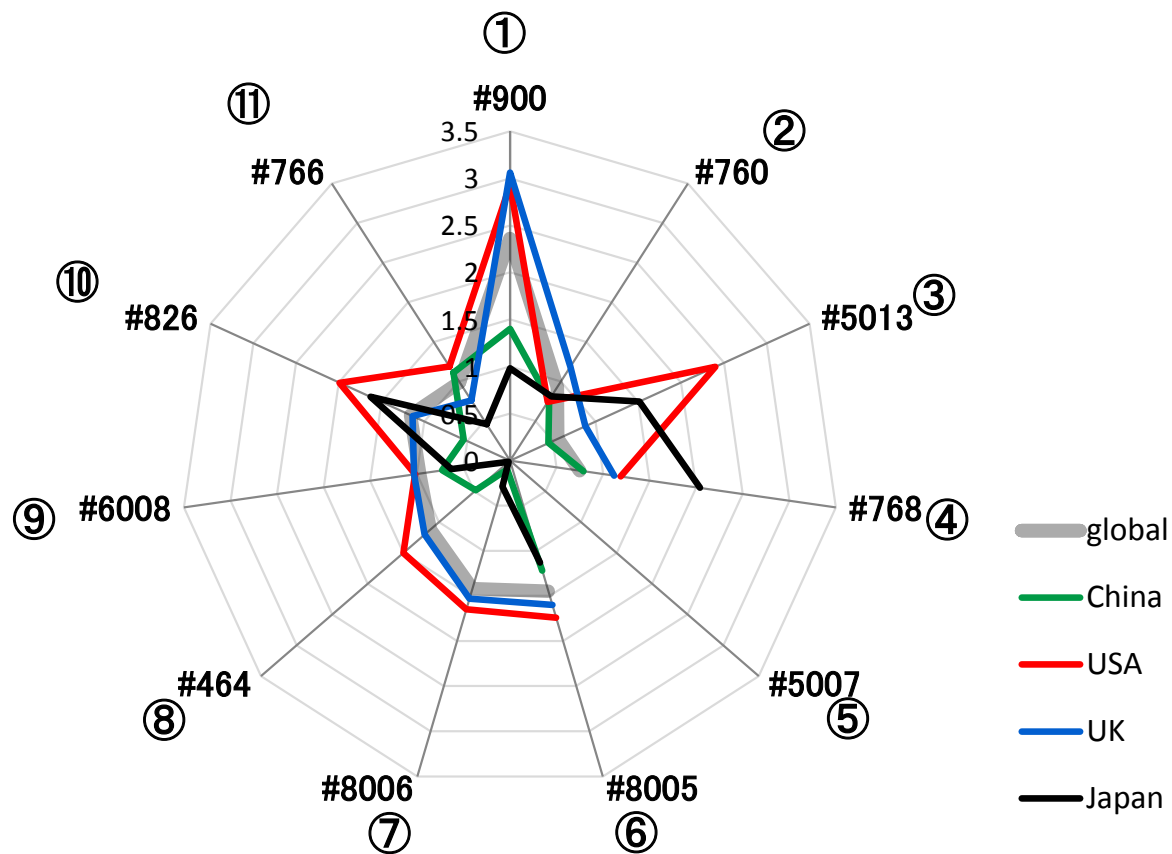
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカーには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	検索語	論文数
①	#900	自然資本 ガバナンス	1
②	#760	地域 持続可能 エネルギー	165
③	#5013	地域 循環 経済システム	18
④	#768	地域 経済成長 環境 保全	24
⑤	#5007	人口減少 過疎 持続可能 社会	2
⑥	#8005	持続可能性 人口	100
⑦	#8006	育児 仕事 両立	337
⑧	#464	高齢者の労働	49
⑨	#6008	持続可能なコミュニティ	66
⑩	#826	環境保全 地域レベル	15
⑪	#766	環境 保全 情報 共有	41

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

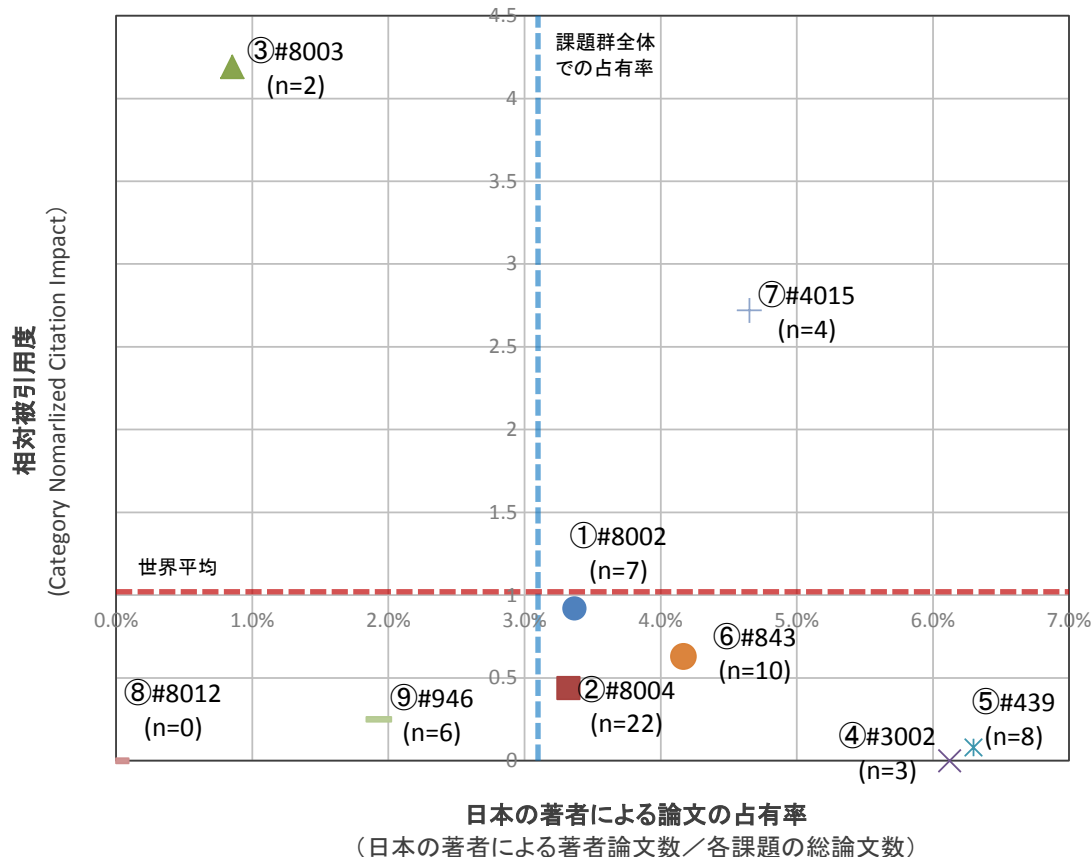
No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#8002	郊外と環境問題に関する研究	TS=(suburb* environmental problem)	208
②	#8004	都市と集積(人口・産業)の問題に関する研究	TS=(urban problem*) AND TS=(population OR industr*) AND TS=(concentration OR agglomeration)	662
③	#8003	地域計画と持続可能性に関する研究	TS=(sustainable "regional planning")	234
④	#3002	村落・若者・定住に関する研究	TS=(younger settl* village)	49
⑤	#439	農林業と労働力に関する研究	TS=(farming "labor force") OR TS=(forestry "labr force")	127
⑥	#843	分散型エネルギーと農村に関する研究	TS=(decentralized energy rural)	240
⑦	#4015	森林・生態系・管理に関する研究	TS=(mountain forest ecosystem maintenance)	86
⑧	#8012	都市・資源・連携に関する研究	TS=(region collaborat* urban resource)	84
⑨	#946	持続可能性・分散型・コミュニティに関する研究	TS=(sustainab* decentraliz* community)	311

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

注3) 森先生のご提案は、#451に反映(赤字箇所)。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

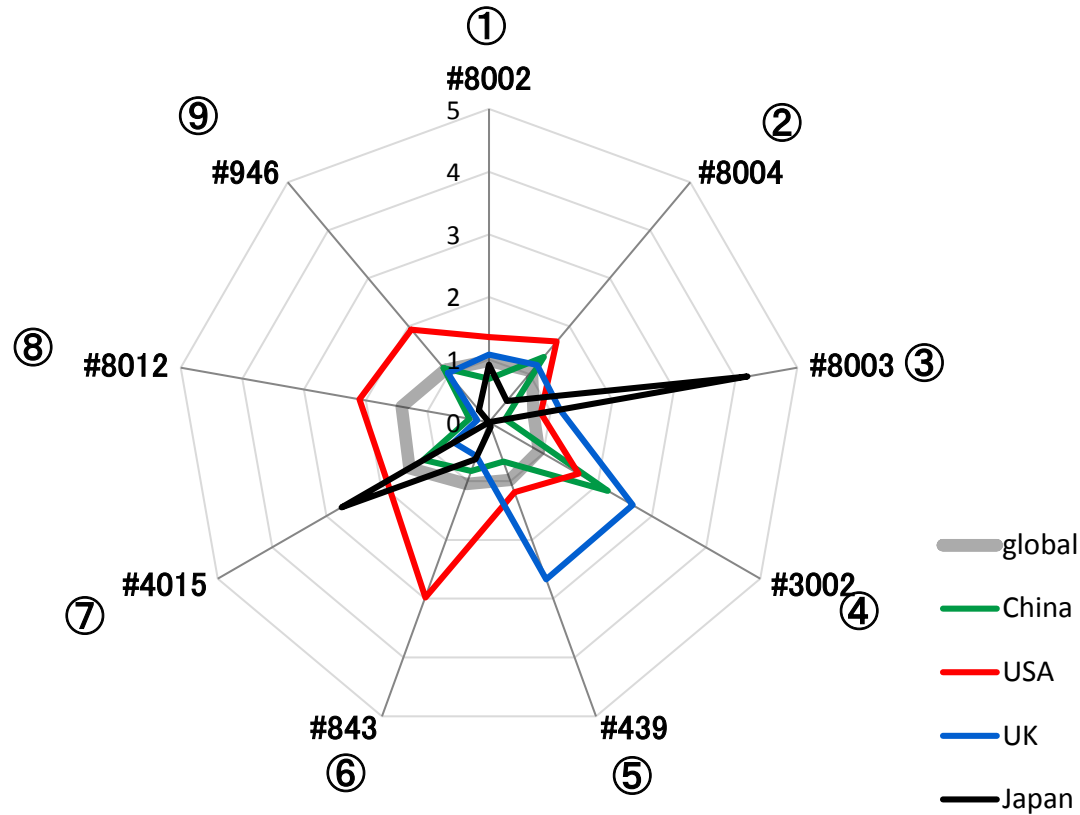
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	抽出した論文	論文数
①	#8002	都市 周辺地域 環境問題	5
②	#8004	都市 人口集中 解決	4
③	#8003	都市 農村 デザイン	280
④	#3002	移住 地方 活性化	13
⑤	#439	(農業 OR 林業) 参入	1057
⑥	#843	地域自立型 エネルギー	7
⑦	#4015	(森林 OR 里山) 生態系 管理	279
⑧	#8012	地域資源 都市 連携	41
⑨	#946	(分散 OR 分権) 地域社会 持続可能	6

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

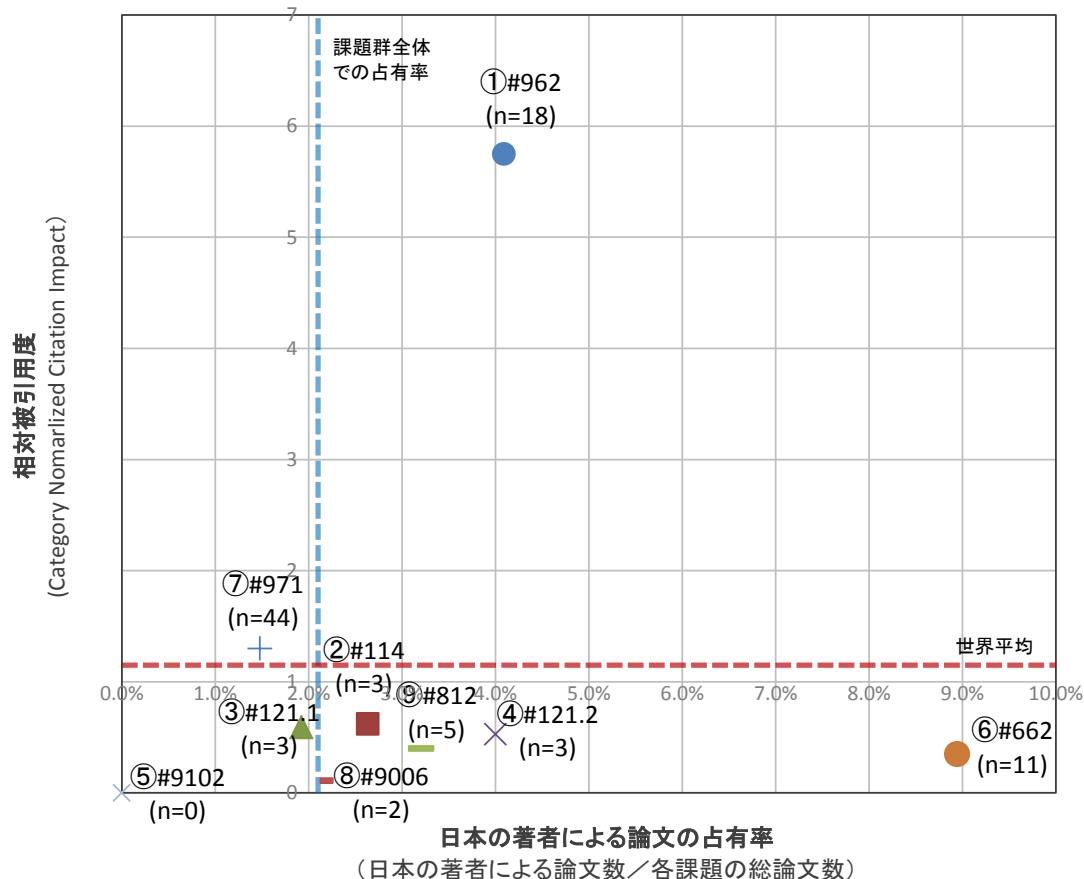
(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#962	途上国と援助(水・食料・医療)に関する研究	TS=("developing countr*" assistance) AND TS=(water OR food OR health)	440
②	#114	途上国と化石燃料の削減に関する研究	TS=("developing countr*" "fossil fuel" reduc*)	114
③	#121.1	途上国・経済発展・生物多様性に関する研究	TS=("developing countr*" economic development biodiversity)	156
④	#121.2	途上国・生態系・援助に関する研究	TS=("developing countr*" ecosystem) AND TS=(aid OR assist*)	75
⑤	#9102	環境配慮・投資・ビジネスに関する研究	TS=(environment investment business internal*)	138
⑥	#662	気候変動／資源枯渇と地球環境への影響に関する研究	TS=("global environment*" assessment impact) AND TS=("climate change" OR "resource depletion")	123
⑦	#971	持続的な発展と指標に関する研究	TS=("sustainable development" indicator)	2978
⑧	#9006	社会的・技術的イノベーションと持続可能性に関する研究	TS=("social innovation" or "technical innovation") AND TS=(sustainability)	94
⑨	#812	貧困・気候変動・生物多様性に関する研究	TS=(poverty "climate change" biodiversity)	156

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

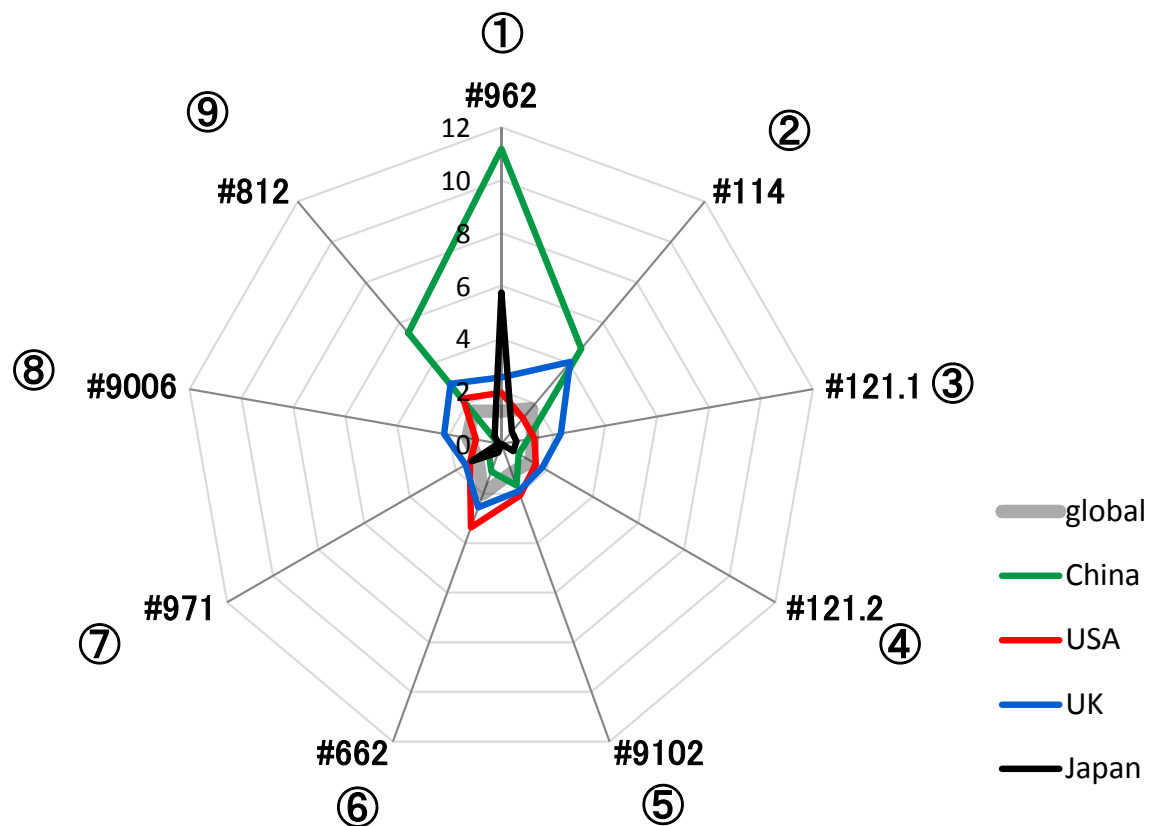
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注3) 各マーカには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	検索語	論文数
①	#962	途上国 支援（水環境 OR 食糧 OR 医療）	67
②	#114	途上国 化石燃料 低減	1
③	#121.1	途上国 経済 発展 生物多様性	156
④	#121.2	援助 生態系 保全	1
⑤	#9102	環境 投資 内在 ビジネス	3
⑥	#662	（温暖化 OR 資源枯渇）地球環境 影響	123
⑦	#971	持続 発展 指標	71
⑧	#9006	（社会 OR 技術）イノベーション 持続可能	94
⑨	#812	貧困（気候変動 OR 生物多様性）	20

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

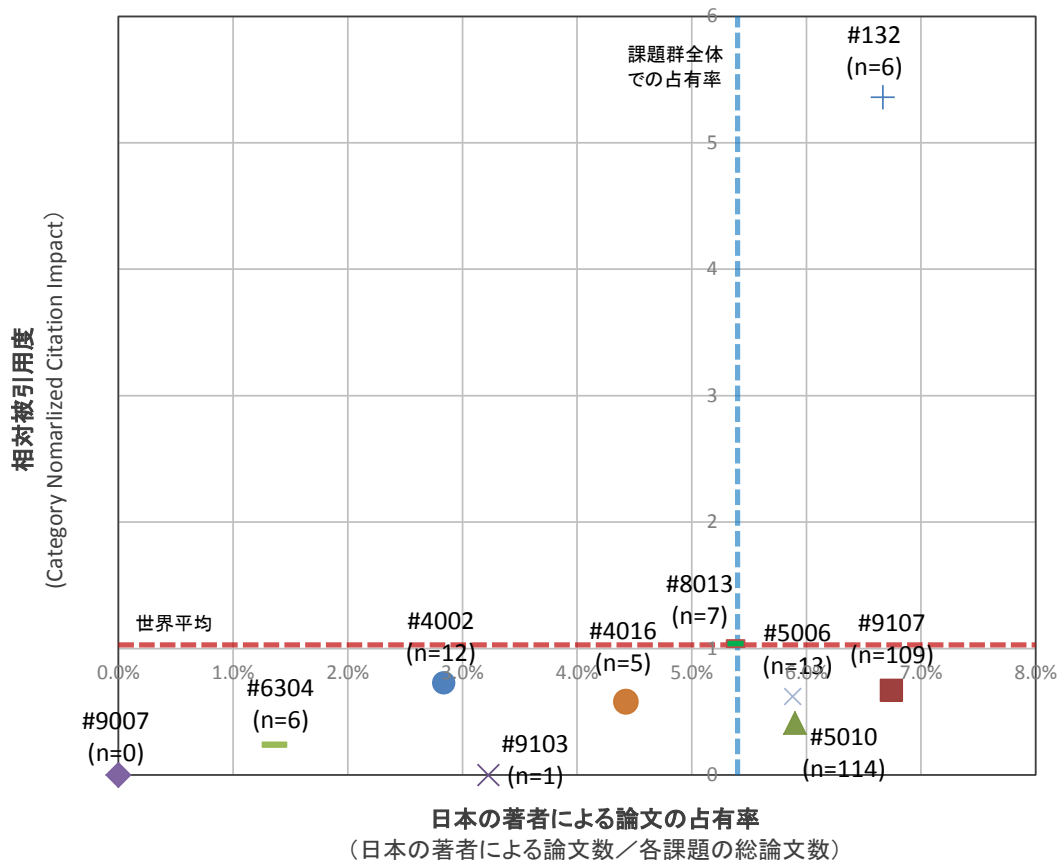
課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
#4002	過剰包装と価値観に関する研究	TS=(packaging waste values)	423
#9107	3Rに関する研究	TS=(reduce reuse recycle)	1617
#5010	産業廃棄物の処理・再利用に関する研究	TS=("industrial waste") AND TS=(treatment OR reuse OR recycle)	1932
#9103	伝統的ライフスタイルと環境に関する研究	TS=("traditional lifestyle" environment)	31
#5006	災害・歴史・環境に関する研究	TS=(disaster history environment)	221
#4016	人間活動と環境問題に関する研究	TS=("human activit*" "environmental issue*")	113
#132	環境と生活の質の両立に関する研究	TS=(environment well-being compatib*) OR TS=(environment welfare compatib*)	90
#8013	低炭素と消費行動に関する研究	TS=("low carbon" consumption behavior)	132
#6304	ローカルナレッジと環境に関する研究	TS=("local knowledge" environment)	441
#9007	宗教と環境保全に関する研究	TS=(religio* environment conservation)	76

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

注3) #5007に関連する論文は、十分な数が得られなかったため分析から除外。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。

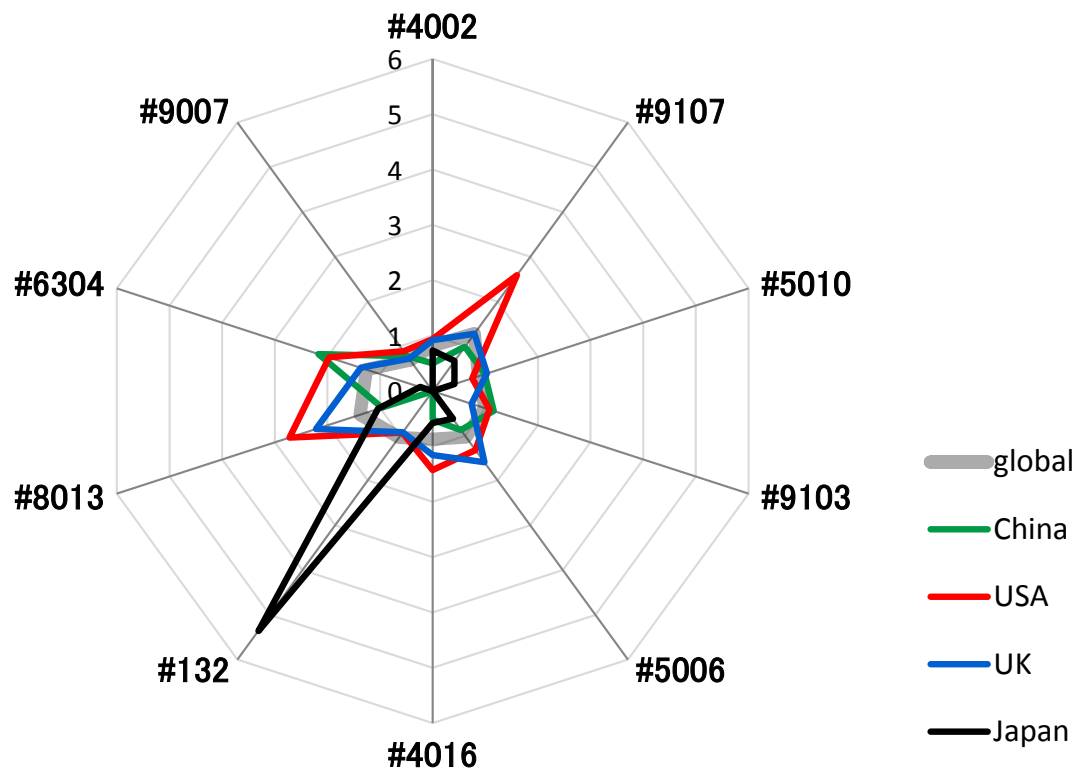
注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。

注2) 各マーカには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。

注3) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。

注4) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

各課題の論文抽出に用いた検索語と抽出した論文数

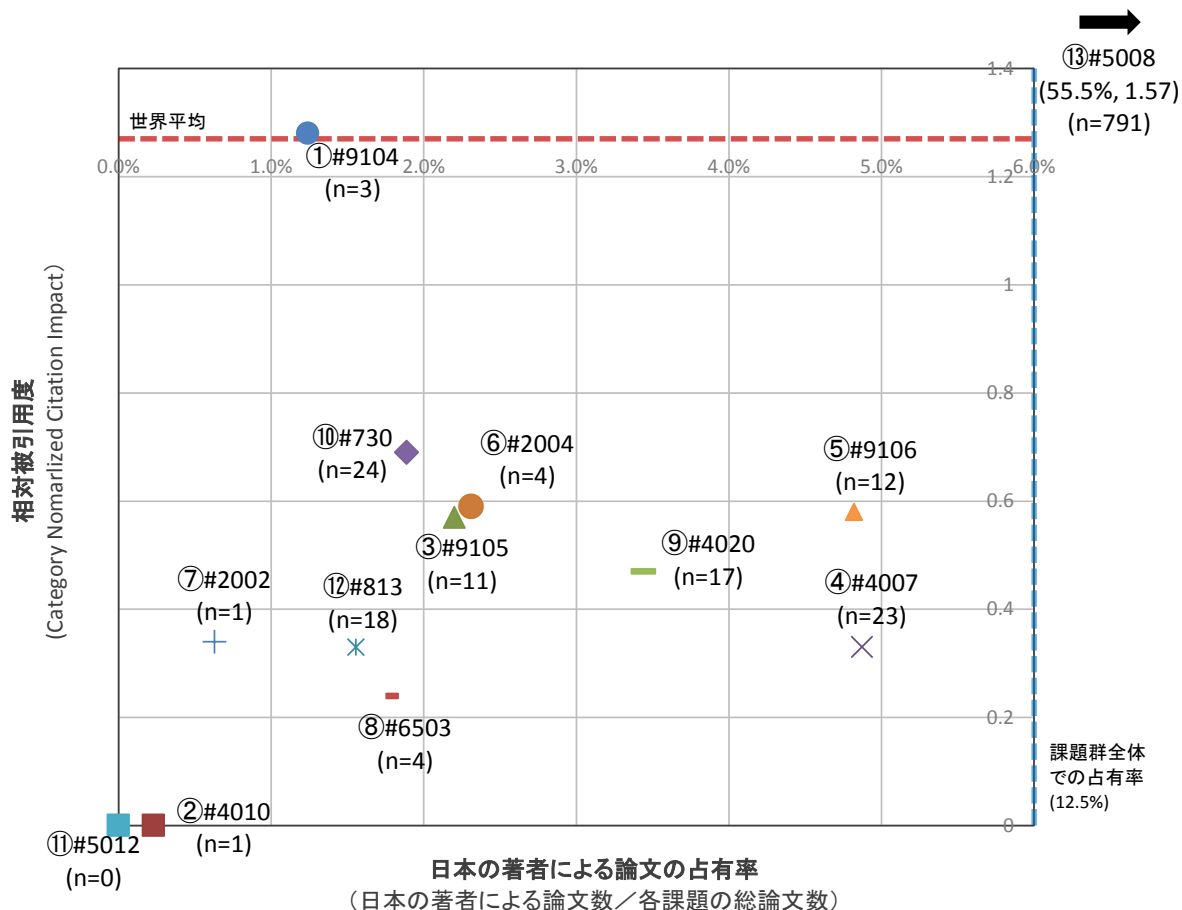
(※課題内容を直接表す論文ではなく、課題に関連する論文を抽出していることにご留意ください)

No.	課題番号	抽出した論文	論文抽出に用いた検索語	論文数
①	#9104	市民・リテラシー・環境に関する研究	TS=(public literacy)	242
②	#4010	ジャーナリズムと環境に関する研究	TS=((journalism or journalist) environment)	435
③	#9105	環境問題と対話に関する研究	TS=environment problem dialogue	500
④	#4007	環境に良い商品の価格・情報・制度・支援に関する研究	TS=(environment friendly products (price or information or regulation or support)	472
⑤	#9106	環境情報の公開・意識に関する研究	TS=("environmental information" disclosure) OR TS=("environmental information" awareness)	249
⑥	#2004	環境と風評に関する研究	TS=(rumor environment) OR TS=(reputation damage environment)	173
⑦	#2002	健康・リスクコミュニケーション・汚染に関する研究	TS=(health risk communication pollution)	159
⑧	#6503	データ管理と環境リスクの予測に関する研究	TS=(data management risk prediction environment)	228
⑨	#4020	地球観測データに関する研究	TS=("earth observation data")	494
⑩	#730	地球環境と意思決定に関する研究	TS=("decision making" global environment)	1273
⑪	#5012	マイノリティと環境政策に関する研究	TS=(minority environment policy)	495
⑫	#813	科学的知見と市民に関する研究	TS=("scientific knowledge" public)	1158
⑬	#5008	福島原発事故に関する研究	TS=(Fukushima nuclear power accident)	1425

注1) 論文の抽出には、トムソン・ロイターWeb of ScienceのCore Collectionを使用。

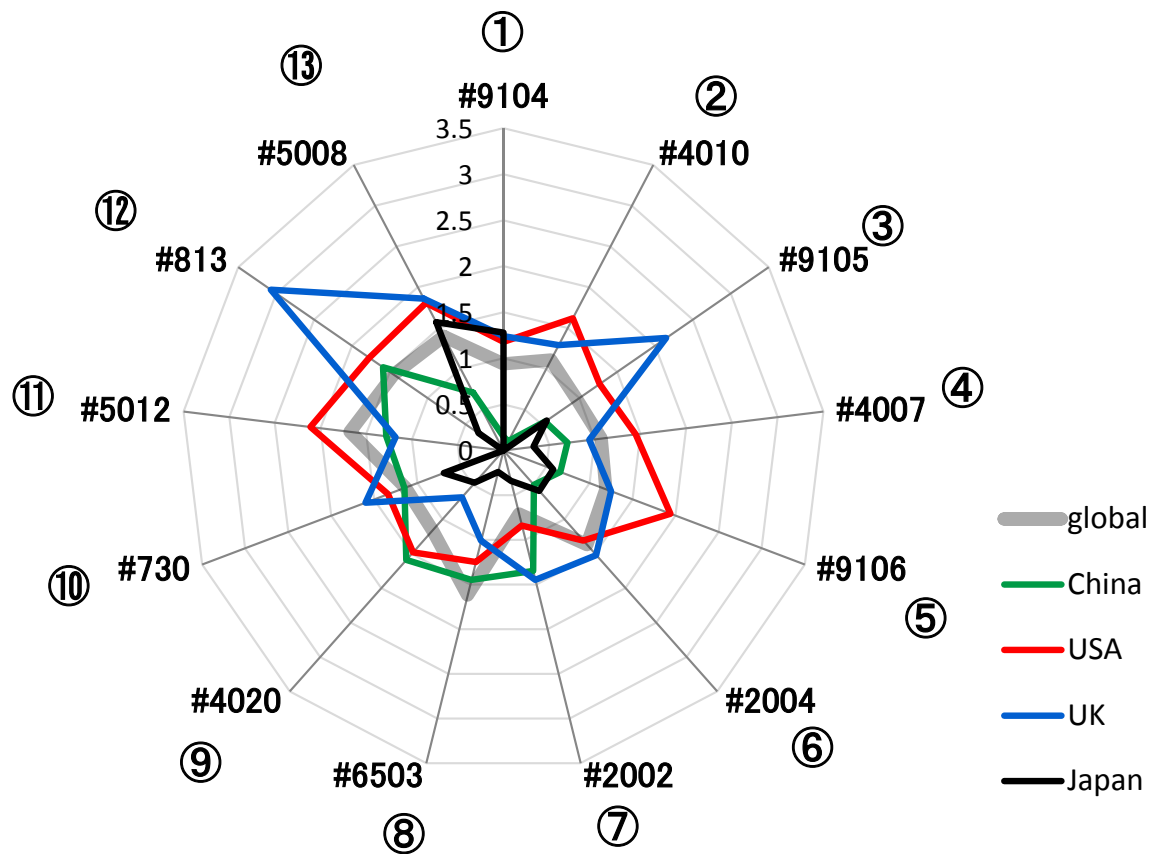
注2) 検索語の中のTSはトピック検索、SUは分野検索を意味。

課題毎の日本の著者による論文の占有率と論文インパクト(相対被引用度)



- 注1) 横軸は、抽出した各課題の全ての論文に含まれる日本の著者による論文の割合。縦軸は、相対被引用度。
- 注2) 相対被引用度とは、トムソン・ロイターInCites Benchmarkingが提供する各論文の被引用の度合いを示す指標。学問分野・発行年・ドキュメントタイプによる被引用数の違いを考慮して、各論文の被引用数を標準化したもの。データベース内の全論文の平均値が1になるよう設定。
- 注3) 各マーキーには対応する課題番号 (#付数字)と課題内の日本の著者による論文数を記載。
- 注4) 赤い点線は、抽出した全課題の論文(日本の著者以外も含む)の相対被引用度の平均値。
- 注5) 青い点線は、抽出した全課題の論文に含まれる日本の著者による論文の割合。

課題毎の論文インパクト(相対被引用度)の国際比較



注) globalの値は、抽出した全ての論文を対象にした相対被引用度の平均値。各国の値は、その国の著者が含まれる論文のみを対象に算出した平均値。

国立情報学研究所CiNii Articlesを用いて検索した場合の論文数

No.	課題番号	検索語	論文数
①	#9104	市民 リテラシー 環境	22
②	#4010	環境問題 ジャーナリズム	5
③	#9105	環境問題 対話	25
④	#4007	環境 商品 (価格 OR 情報提供)	10
⑤	#9106	環境 情報 市民 意識	101
⑥	#2004	風評被害 情報	96
⑦	#2002	健康 汚染 リスク 伝える	2
⑧	#6503	リスク 早期 データ (集積 OR 分析 マネジメント)	14
⑨	#4020	地球観測データ	268
⑩	#730	国際 環境問題 意思決定	9
⑪	#5012	マイノリティ 環境 政策	9
⑫	#813	市民 科学的 データ	16
⑬	#5008	福島 原発 事故 (学ぶ OR 伝える)	57

注1) CiNii Articlesは、国立情報学研究所が提供する学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。主に日本語で書かれた論文が対象。